

I : 2022年3月期 決算概要

II : 中期経営計画

III : ESG (SDGs) への取り組み、基本理念

ESG (SDGs) への取り組み

OKB 大垣 共 立 銀 行

2021年12月、サステナビリティ基本方針を策定するとともに、重点課題を特定。また、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明。OKBグループはTCFD提言のフレームワークに沿った情報開示に努めてまいります。

OKB SDGs宣言

OKBグループは、『地域に愛され、親しまれ、信頼されるOKB』という基本理念のもと、グループ役職員一人ひとりが地域の課題解決に積極的に取り組むことを通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、地域とともに持続的な成長を目指してまいります。

2021年12月

「サステナビリティ基本方針」策定

OKBグループは、サステナビリティを巡る課題への対応を重要な経営課題として認識し、「地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献する」ことで、OKBグループの経営の基本理念の実現を図ってまいります。



重点課題(マテリアリティ)

OKBは次の6つの重点課題に取り組んでまいります

I. 地域経済の持続的成長

地域の事業者の皆さまそれぞれのニーズに応じたソリューションをグループ全体で提供し、本業支援を通じた課題解決によって、地域経済の持続的成長に貢献します。

該当する
SDGsのゴール



II. 地域のイノベーション支援

AIやFinTechなどのIT技術を活用して、お客さまにとってより利便性が高く、より身近な金融インフラを構築するとともに、地域のイノベーションを支援し、持続可能な産業化を促進します。



III. 多様な人材の活躍推進

女性社員をはじめとする多様な人材の幅広い分野での活躍を推進するとともに、働き方改革によって働きがいのある環境を整備することにより、質の高いサービスの提供に努めます。



IV. 気候変動対応、環境保全

地球環境との共生が持続可能な社会の基盤となることを認識し、自然豊かな環境を未来に引き継ぐため、気候変動問題や環境保全活動に積極的、継続的に取り組みます。



V. 地域資源の活用

種々の課題解決において、地域資源を積極的に活用することで、そのシナジーを最大限発揮し、地域との共存共栄を実現します。



VI. コーポレートガバナンスの高度化

経営の迅速な意思決定及び経営の効率性の追求、積極的なディスクロージャーを通じた経営の透明性の向上、誠実な企業グループとして行動するためのコンプライアンス（法令等遵守）の実践と地域奉仕を基本に、コーポレートガバナンスの高度化に努めます。



・重点課題については適宜見直しを行います

2021年12月

「TCFD提言」への賛同表明

ガバナンス	取締役会 ↑ 付議・報告（年1回以上） 常務会 ↑ 協議・報告 サステナビリティ推進会議 ●サステナビリティ推進 特命担当役員 ●本部各部室 OKBではサステナビリティ推進の特命担当をトップとしたサステナビリティ推進会議にて気候変動対応等の基本方針や重要事項等を検討しています。その検討内容は、頭取および役付役員で構成する常務会での協議または報告を経て、定期的にまたは必要に応じて、取締役会に付議または報告され、取締役会が気候変動対応の取り組み状況を監督しています。
戦 略	■リスク 気候変動リスクとして移行リスクと物理的リスクを認識しています。シナリオ分析の手法等については、今後、検討してまいります。 ■機会 お客さまの温室効果ガス排出削減やエネルギー効率向上等、環境・社会にポジティブなインパクトの創出に資するファイナンスやソリューション等を提供し、ビジネス機会を創出してまいります。 ■炭素関連資産 当社の与信残高に占める炭素関連資産（エネルギー向けエクスポージャー）の割合は1.2%です。
リスク管理	特定セクターに対する投融資方針を策定し、環境・社会にネガティブな影響を低減・回避しています。 気候変動に起因する移行リスクや物理的リスクが、将来的に財務的影響を及ぼす可能性があることを認識しており、今後、統合的リスク管理の枠組みにおいて、気候変動のシナリオ分析や財務に与える影響の分析に努め、気候変動にかかるリスク管理体制の構築に取り組んでまいります。
指数と目標	サステナブルファイナンス目標（OKBグループ目標） 2030年度までのサステナブルファイナンス累計実行額1兆2,000億円（うち環境分野6,000億円） CO₂排出量削減目標（OKBグループ目標） 中期目標 2030年度までに50%削減（2013年度比） 長期目標 2050年度までにカーボンニュートラル達成

ESG (SDGs) への取り組み

OKB 大垣共立銀行

OKBグループは、ESGへの取り組みを通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Environment (環境)



環境保全に向けた取り組み

サステナブルファイナンスの推進

OKBでは、サステナブルファイナンスの累計実行額について目標額を設定しています。

- 環境課題や社会課題の解決に資するファイナンス
- ESG、SDGsへの取り組みを支援・促進するファイナンス
- 気候変動への適応・緩和など、環境負荷低減に資するファイナンス(環境分野)

【2030年度までの累積実行目標】

1兆2,000億円
(うち、環境分野6,000億円)

CO₂排出量の削減に貢献

ネクシーズとのLED照明などの省エネ関連機器導入に関するビジネスマッチング契約に基づき、取引先の省エネ化に貢献

■ビジネスマッチング実績 (2022年3月末時点)

区分	実績
成約社数	204社
成約件数	274件

件数内訳	実績
LED照明	185件
コロナ関連設備	63件
業務用空調	18件
厨房機器	6件
その他	2件

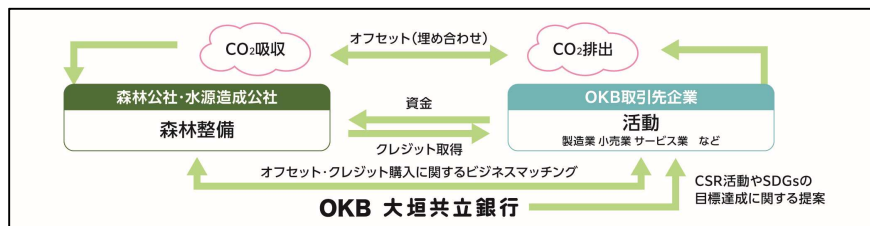
■LED照明導入による
電力削減量およびCO₂
排出ビジネスマッチング実績

電力削減量
3,764,500kWh

CO₂排出削減量
1,720t

カーボン・オフセット推進をサポート

2021年8月から、岐阜県森林公社および木曽三川水源造成公社とのビジネスマッチングに基づき、森林保全への貢献を目的とする「オフセット・クレジット」を取引先企業に紹介しています。



OKB森林共和国での森林保全活動

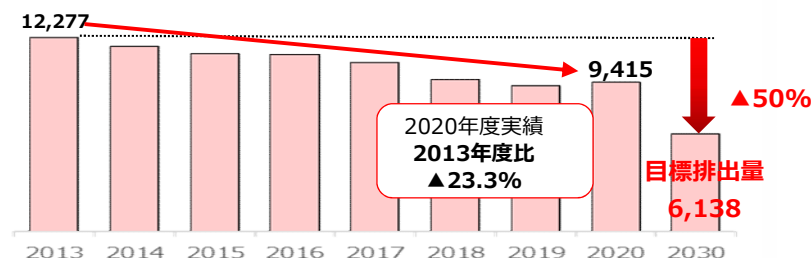
2015年5月に岐阜県および揖斐川町と『OKB森林共和国』における恵みの森林づくり協定を締結し、「OKB森林共和国」を建国。森林づくりを通じたSDGsの推進およびカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを行っています。



累積植樹本数 **約540本** (2021年10月時点)

CO₂排出量の削減目標(OKBグループ)

(単位: t-CO₂)



2030年度までに **50%削減**(2013年度比)

2050年度までに **カーボンニュートラル達成**

OKBグループは、ESGへの取り組みを通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Social (社会)



ダイバーシティ推進

女性の活躍推進

女性活躍を一層推進すべく、管理職を目指す意識改革に向けた取り組み、両立支援制度の取得環境を向上させる取り組みを実施しています。

意識改革

- 主任制度の運用拡大により、意欲と能力のある社員を積極的にリーダー職に任命
- 「ジョブプリクエスト・FA制度」において、意欲や能力のある女性社員を積極的に登用
- 女性の活躍事例やロールモデルを広く周知し、目指すべき女性像を具体化

両立支援制度の認知度向上

- 男性の育児関連休暇などの取得促進に関する情報発信
- 男性取得者からの情報発信により、育児関連休暇の認知度や意識を向上

女性による女性のためのプロジェクトチーム

2008年に発足した、女性による女性のためのプロジェクトチーム「L'sプロジェクト」では、これまでエステや美容整形などの目的で利用できる「Bi-sket」(全国銀行初)や不妊治療関連ローン「Futari-de」(全国金融機関初)などのサービス展開のほか、女性向けの情報発信メディア「Ohisama Marchéおひさまマルシェ」を運営



【2030年までの女性リーダー比率】

30%達成 (主任以上)

障がい者雇用の促進

関連会社のOKBパートナーズでは障がい者雇用の促進に努める優良中小事業主を認定する「もにす認定制度」において全国で初めて認定を取得したほか、「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づく「特例子会社制度」の認定を取得しています。



障がい者自立サポート

“誰もがいきいきと活躍できる地域づくり”に貢献するため、障がいのある作家と地域企業とのコラボレーションによる商品開発をトータルサポートすることで、収益の一部を作家に還元して社会参加をサポートする「トモニアートプロジェクト」を始動しました。第1弾の活動では中北薬品による“トモニアート”を採用した“エタノール消毒液”の商品化をサポートしました。



地域の課題解決に向けた取り組み

「健康口座」の取扱開始

少子高齢化や医療費の高騰などにより医療費負担のあり方が社会的な問題となるなか、お客さまの健康・医療に関する悩みを解消するサービスが付帯された「健康口座」の取り扱いを開始しました。

全国金融機関初



自治体向けコンサルチーム

LOCAL #Co-PROJECT

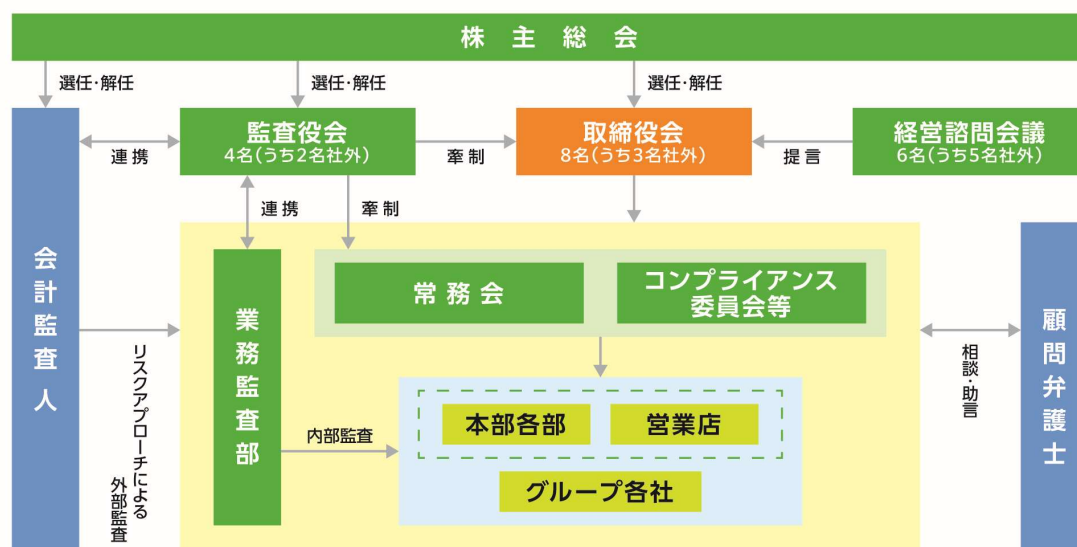
地域の課題解決を目的とした自治体向けコンサルティングチーム「ローカル共Co-プロジェクト (ローカル・Co-プロジェクト)」が発足。OKBグループの持つ独自のノウハウやネットワークを活用し、地域課題の解決に取り組むほか、戦略的パートナーとしてスノーピークおよびポニーキャニオンと地方創生の推進に関する協定を締結しました。

OKBグループは、ESGへの取り組みを通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Governance (ガバナンス)



現状のコーポレートガバナンス体制の概要



OKBはコーポレートガバナンスの一層の機能強化を図るとともに適正な企業運営を行うため、企業統治の体制として監査役制度を採用しています

取締役会



社外取締役比率

37.5% (3/8名 うち女性1名)

経営諮問会議



社外役員比率

約83% (5/6名)

取締役会の実効性評価

2022年5月に実施した取締役会全体の実効性に関する分析・評価における結果の概要は以下の通りです。

- ・議案の重要性等を踏まえて取締役会運営を柔軟に行い、中長期的な経営課題等についての意見交換を行う時間を一層充実させていく
- ・論点・方針・リスク・結論等が分かりやすい資料づくりに努め、取締役会の議論がより活性化するように取締役会運営を進めていく

基本理念

地域に愛され 親しまれ 信頼される銀行

OKBグループ行動憲章

- 一、私たちは、一人ひとりが考え、行動し、時代に挑み続けます
- 一、私たちは、お客さまの喜びを追求します
- 一、私たちは、常に質の高いサービスを提供します
- 一、私たちは、地域とともに歩みます
- 一、私たちは、コンプライアンスを徹底し、誠実・公正に業務を遂行します



米国の経済誌Forbesが調査した「WORLD'S BEST BANKS 2022」で
OKBは**地域金融機関第1位**に選出されました

【本資料に関するご照会先】

OKB大垣共立銀行 広報部 横畠

TEL : 0584-74-2248

FAX : 0584-74-2512

E-mail : kouhou@okb.co.jp

URL : <https://www.okb.co.jp>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによるリスクや不確実性を内包するものであることにご留意ください。